

減災のための目標(案)について

福井豪雨と台風18号の教訓

逃がす

- ①福井豪雨では、避難勧告・指示が発令された地域の避難率が5%
- ②足羽川の決壊箇所地域では、避難勧告・指示後まもなく決壊
- ③台風18号の嶺南地方では、約2割の人が避難勧告の情報を受信できていない

防ぐ

- ④自主防災組織や消防団等の協力・連携の重要性を改めて確認
- ⑤水防資機材の確認や円滑な水防活動を実施するための準備が必要

復旧する

- ⑥氾濫発生後の速やかな被害状況の把握が困難
- ⑦状況に応じた物資搬送（車、ボート、ヘリコプター等）と需給バランスが必要
- ⑧ボランティア活動等の支援活動の効率的な運用が必要

※福井市資料、小浜市アンケート調査結果などに基づき事務局で編集

減災のための目標(案)

○5年間で達成すべき目標

平成16年7月の福井豪雨や平成25年9月の台風18号の教訓を踏まえ、九頭竜川・北川の大規模水害に備えて「逃がす・防ぐ・復旧する」ことに取り組み、次世代に「水害に強い地域」と水防災意識を「継承」する。

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

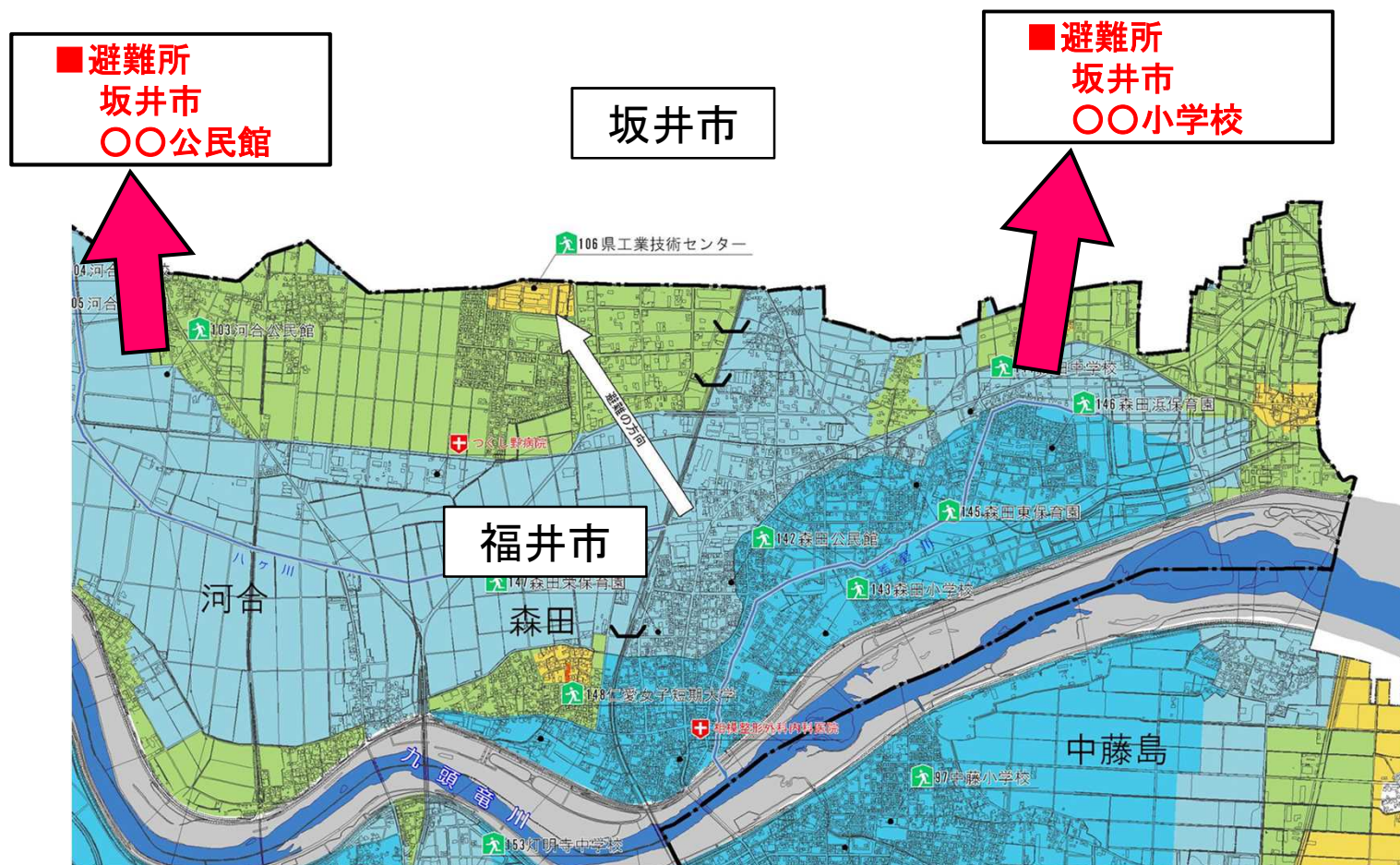
○目標達成にむけた取組方針

1. 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み
2. 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化
3. 一刻も早く災害から復旧するための取り組み

目標達成に向けた取り組みイメージ①

○広範囲に浸水した場合を想定し、今後、本協議会で広域避難について調整・検討をしていく。

広域避難計画のイメージ

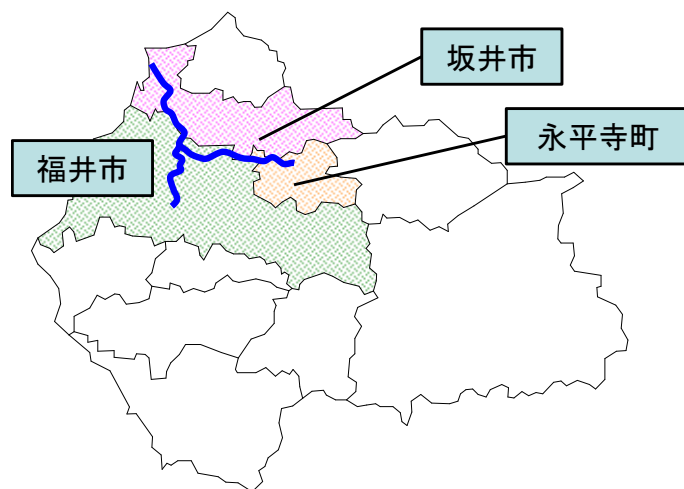


目標達成に向けた取り組みイメージ②

○重要水防箇所や危険箇所について、河川管理者・沿川職員・消防団（水防団）などの共同点検を行い水害リスクの情報共有を図る。

洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

位置図



重要水防箇所（水衝・洗掘）
九頭竜川左岸27.6k付近（永平寺町）



重要水防箇所（堤防高）
九頭竜川右岸16.4k付近（福井市）



重要水防箇所（堤防高）
日野川右岸10.6k付近（福井市）



重要水防箇所（堤防高）
九頭竜川右岸5.0k付近（坂井市）

目標達成に向けた取り組みイメージ③

○小中学校などの教育機関と連携した防災教育の拡充。

＜取組事例＞わが家の防災コンテスト(H26,27)

概要

福井豪雨を振り返り、改めて水害に対しての防災・減災への意識を喚起するため、県内の小学生とその家族を対象に防災コンテストを開催した。

コンテストでは、福井豪雨を経験していない小学生が、災害が発生した時に避難する場所や危険な場所がどこなのか、災害が起こった時にどう行動すればよいか等を、**家族と話し合っ**て作成する「**防災マップ**」を応募した。



H26年度応募数 95点
H27年度応募数 178点

コンテスト入賞作品 (H27)

審査会の結果、以下の入賞作35点を選考した。また、9月に福井新聞社にて表彰式を行った。

最優秀賞:社北小5年 須方 海咲
優秀賞 :東十郷小6年 牧野 早夕花
同上 :春江小5年 長岡 野乃子
同上 :春江小5年 坂下 心音
特別賞2名 入選9名 奨励賞20名



最優秀賞：須方 海咲



表彰式の様子



表彰式の様子

目標達成に向けた取り組みイメージ④

○関係機関が連携した実働水防訓練や水防資機材の確認。

水防訓練のイメージ

漏水防止



シート張り工



月の輪工



釜段工

越水防止



積土のう工



改良積土のう工



堰板工

崩壊防止



杭打ち積土のう工



五徳縫い工



決壊防止



木流し工

